

# 施策評価調書

施策名	1-2-1	計画的な道路の整備と維持管理		施策を取り巻く環境変化
		地域経営計画(後期計画) 該当ページ	P. 21	
担当部課	建設産業部 都市整備課	担当 リーダー	都市整備担当 阿久津 径行	

## 1. 住民意識調査結果

21年度(10月実施)		25年度(※実施予定)		26年度(※実施予定)	
満足度	-4.2% 第21位/全36項目(計画的な道路の整備)	満足度	第 位/全 施策	満足度	第 位/全 施策
優先度	30.9% 第34位/全36項目(計画的な道路の整備)	優先度	第 位/全 施策	優先度	第 位/全 施策

満足度:「満足である」、「どちらかと言えば満足である」を合計した割合から、「どちらかと言えば不満である」、「不満である」を合計した割合を差し引いたもの  
 優先度:「優先すべき」、「やや優先すべき」を合計した割合から、「あまり優先しなくてよい」、「優先しなくてよい」を合計した割合を差し引いたもの

## 2. 施策の目標

指標	基準値	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
指標1: 幹線道路整備進捗率(目標:22路線/24路線): (%)	21年度までの実績	計 画	79.2%	79.2%	79.2%	79.2%	91.6%
	62.5%	実 績	%	%	%	%	
指標2:		計 画					
		実 績					
指標3:		計 画					
		実 績					
指標4:		計 画					
		実 績					
指標5:		計 画					
		実 績					
指標に関する特記事項							

進捗状況の区分   ↑: 目標以上の成果があった   →: 目標どおりの成果があった   ↓: 目標に至らなかった   △: 遅延・未着手等   ×: 見直し・廃止等

## 3. 施策に係る経費

事業費(傘下事務事業費計)の推移【単位:千円】 (※総事業費)	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
		当 初	93,460	83,800		
	決 算					

## 4. 施策傘下事務事業 ※別紙のとおり

## 5. 施策評価

後期計画における施策展開のビジョン		H24年度の狙い
自己評価(部)	H22 事後評価	利便性の高い道路網の形成に向けて、幹線道路の整備や道路評価システムに基づいた道路の整備を行いました。 継続している路線の早期完成、新規については道路評価システムに基づいた路線を整備します。
	H24 事前評価	町の幹線道路を整備の柱に道路評価システムに基づいた生活関連道路を整備し、利便性の高い道路網を形成していきます。
総合評価(町長)	総合評価	施策傘下事務事業に係る個別指摘事項
	積極的に施策展開されていることを評価するが、東日本大震災復旧事業に係る財源確保(事業費・人件費ともに)のため、今後においては、所管部署としても、事業の先送り等、計画執行と財源確保のバランスを十分に検討されたい。 今回のH24事前評価においては、今後の方向性として、新設改良工事については全て、当面は事業を先送りすることとし、事業の執行は維持修繕工事に限定することとする。	全ての事業と判断するが、財源を確保し、災害復旧事業に充てるため、次のとおりの評価とする。 ・緊急性から、町道348号線については「継続事業」とする。 ・町道244号線、町道190号線、町道311号線、町道328号線については継続性のあるものだが、財源確保のため、事業を先送りするという意味合いで、H24年度は「条件付継続事業」とする。 ・町道525号線、宝積寺南通りについては「継続事業」とするが、総合評価の趣旨を踏まえ、0円事業として関係者との調整等を進められたい。 ・「農道整備事業費」については、財源確保のため、事業を先送りするという意味合いで、H24年度は「条件付継続事業」とする。